

考古学、文化人類学の立場から、北太平洋の対岸に位置するアラスカと北海道を主な調査地として、両者を比較検討しつつ、北太平洋沿岸地域における先住民の海洋適応、文化変容に関する研究を進めてきた。平成3年開館の道立北方民族博物館には、設計段階から積極的に協力・助言し、今日では北方文化研究の拠点のひとつとして、調査研究、教育普及、情報収集等の活動を行う施設となっている。また、文化人類学の立場から、女性学、ジェンダー研究の分野でも講演や著作を通して提言・発信を行うなど、長年にわたり研究を行い、本道における北方文化研究の発展、推進に大きく寄与している。

◎受賞者の主な略歴

- S 36 明治大学大学院文学研究科博士課程修了
- S 39 米国ウイスコンシン大学人類学部研究員就任（～S 41）
- S 43 国立音楽大学講師／助教授就任（～S 52）
- S 53 北海道大学理学部／文学部助教授就任（～S 63）
- S 63 北海道東海大学国際文化学部教授就任（～H 16）
- H 3 北海道立女性プラザ館長就任（～H 16）
- H 12 北海道公安委員会委員就任（～H 15）
- H 13 男女共同参画社会づくり功労者表彰（内閣府）
- H 13 北海道民族学会会長就任（H 17～顧問）
- H 14 日本民族学会／日本文化人類学会評議員就任（～H 18）
- H 14 日本人類学会 学会功労賞を受賞
- H 15 （財）北海道開拓の村理事／理事長就任（～H 19）
- H 17 北海道東海大学名誉客員教授就任（～現在）
- H 18 札幌市市政功労者表彰
- H 22 北海道立北方民族博物館館長就任（～現在）

